



## 2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月12日

上場会社名 池上通信機株式会社

上場取引所 東

コード番号 6771 URL <https://www.ikegami.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清森 洋祐

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役常務執行役員経営管理本部長 (氏名) 青木 隆明

TEL 03-5700-1111

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	7,884	8.2	681		635		648	
2020年3月期第2四半期	8,586	3.3	342		315		133	

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 613百万円 ( %) 2020年3月期第2四半期 261百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	101.55	
2020年3月期第2四半期	21.59	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	23,249	12,282	52.8
2020年3月期	26,130	13,081	50.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 12,282百万円 2020年3月期 13,081百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		30.00	30.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(2020年11月12日)公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	9.6	500	34.9	500	9.4	400	43.3	62.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2020年11月12日)公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	7,285,746 株	2020年3月期	7,285,746 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	898,478 株	2020年3月期	904,408 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	6,383,308 株	2020年3月期2Q	6,195,175 株

(注)当社は株式付与ESOP信託制度(2019年8月終了)および従業員持株ESOP信託制度(2019年6月終了)を導入していました。当該信託に係る株式付与ESOP信託口および従業員持株ESOP信託口が所有する当社株式については、連結財務諸表において自己株式として表示していることから、当該ESOP信託口が所有する当該株式数は、「期中平均株式数」の「2020年3月期2Q」から257,276株を控除しています。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(追加情報) .....	11

# Ikegami

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年9月30日）におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、依然として厳しい状況が継続しています。5月に緊急事態宣言が解除されて以降、各種政策の効果もあり景気の持ち直しの動きに期待がされていますが、感染症拡大の収束の目処もたない状況から、企業収益の大幅な減少や設備投資の抑制が継続するなど、依然として先行き不透明な状況となっています。

一方、世界経済におきましても、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の最中、中国では景気の持ち直しが期待される一方、米国、欧州では経済活動の再開が段階的に進められているものの、景気の回復は未だ先行き不透明な状況が続いています。

このような状況下において、当社グループの第2四半期の経営成績は、以下のとおりとなりました。

国内販売につきましては、放送システム事業の売上高は前年同期並みを維持しましたが、産業システム事業の売上高が伸び悩んだことにより、前年同期の売上高を下回りました。

一方、海外におきましては、アジア地域では前年同期の売上高を上回りましたが、欧州地域では前年同期の売上高を若干下回り、特に北米地域では第1四半期に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受け、前年同期と比べ売上高が大幅に減少しました。

この結果、連結売上高は、前年同期比で8.2%減の78億84百万円となりました（前年同期売上高85億86百万円）。

営業損益につきましては、WEBの活用による営業活動の効率化や経費抑制の成果もありましたが、新型コロナウイルス感染症拡大による景気の減速が売上高に影響したことにより、6億81百万円の営業損失（前年同期営業損失3億42百万円）となりました。

経常損益につきましては、経常損失6億35百万円（前年同期経常損失3億15百万円）となりました。最終損益につきましては、親会社株主に帰属する四半期純損失6億48百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失1億33百万円）となりました。

### (地域別市場概況)

国内販売につきましては、前年同期に大きく売上を伸ばした中継車システムは、納入が一段落したことで売上が減少しましたが、第1四半期に続き放送用スタジオサブシステムの納入が順調に進んだことにより、放送システム事業の売上高は前年同期並みを維持することができました。一方、産業システム事業におきましては、検査装置事業、セキュリティ事業で前年同期の売上高を若干下回り、メディカル事業においては、新型コロナウイルス感染症対策への投資が優先される状況が続き、医療用カメラ、モニタの販売が例年になく低調に推移したことから、前年同期の売上高を下回る結果となりました。

北米地域におきましては、新型コロナウイルス感染の拡大による経済活動の鈍化が大きく影響し、主力の放送市場、メディカル市場ともに、第1四半期同様顧客の設備投資が計画通りに進まず、また、営業活動自体が制限される状況が継続しました。その結果、売上高は前年同期を下回る1億97百万円（前年同期売上高3億82百万円）に留まりました。

欧州地域におきましては、放送用カメラシステムおよび医療用カメラ、モニタの販売が前年同期を若干下回る状況で推移したことから、売上高は5億84百万円（前年同期売上高6億60百万円）となりました。

アジア地域につきましては、中国市場でメディカル事業が堅調に推移し、東南アジア地域で放送用無線伝送装置の納入が寄与するとともに、前年度末に新型コロナウイルスの影響で延期となっていた医薬用検査装置の納入工事も無事完了したことから、売上高は前年同期を大きく上回る7億22百万円（前年同期売上高4億61百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、232億49百万円であり、前連結会計年度末に比べ28億80百万円減少しました。流動資産は、現金及び預金、受取手形及び売掛金の減少、仕掛品の増加等により、前連結会計年度末に比べ30億11百万円減の189億8百万円となりました。固定資産は、有形固定資産の増加等により、前連結会計年度末に比べ1億30百万円増の43億40百万円となりました。

負債総額は109億67百万円であり、前連結会計年度末に比べ20億81百万円減少しました。流動負債は、支払手形及び買掛金、電子記録債務、短期借入金の減少等により、前連結会計年度末に比べ15億8百万円減の72億40百万円となりました。固定負債は、社債、長期借入金の減少等により、前連結会計年度末に比べ5億72百万円減の37億26百万円となりました。

純資産については、前連結会計年度末に比べ7億99百万円減少し、122億82百万円となりました。これは主として、当第2四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純損失計上による利益剰余金の減少等によるものです。

この結果、自己資本比率は、52.8%（前連結会計年度末50.1%）となりました。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローについては、税金等調整前四半期純損失6億35百万円を計上し、減価償却費2億92百万円、売上債権の減少額32億21百万円、たな卸資産の増加額17億7百万円、仕入債務の減少額6億41百万円、未払消費税等の減少額4億94百万円等により、3億50百万円の支出となりました（前年同期比10億11百万円の支出減少）。

投資活動によるキャッシュ・フローについては、有形固定資産の取得による支出1億88百万円等により、1億97百万円の支出となりました（前年同期比2億47百万円の支出増加）。

財務活動によるキャッシュ・フローについては、短期借入金の純減額4億48百万円、長期借入金の返済による支出2億79百万円、配当金の支払額1億89百万円等により、11億49百万円の支出となりました（前年同期比13億60百万円の支出減少）。

以上の結果により、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末に比べ16億91百万円減少し、46億74百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界経済の動向は、段階的な経済活動の再開が進み、景気の持ち直しの動きが期待される中、現時点においても、新型コロナウイルス感染症の収束傾向は見られず、全世界的に感染者数が再び拡大傾向となり、欧州や米国の一部地域でロックダウンが再発令されるなど、更なる状況の悪化が懸念されています。

こうした状況下において、当社の事業環境においても、顧客での設備投資の見直しや延期が生じるなど、業績への影響が懸念される状況は依然として継続しており、いまだ楽観できない状況となっております。

2021年3月期通期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響を合理的

に算定することが困難であることから未定としておりましたが、第2四半期までの実績と足元の事業環境や、現時点で入手可能な情報および予測等に基づき、連結業績予想を算定しましたので公表いたします。詳細につきましては、本日(2020年11月12日)公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,365	4,674
受取手形及び売掛金	6,524	3,343
電子記録債権	245	364
商品及び製品	1,051	1,319
仕掛品	5,520	6,821
原材料及び貯蔵品	1,883	2,043
その他	358	356
貸倒引当金	△29	△14
流動資産合計	21,920	18,908
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	788	810
土地	1,587	1,593
その他（純額）	1,001	1,155
有形固定資産合計	3,377	3,559
無形固定資産		
	191	147
投資その他の資産		
投資有価証券	323	316
その他	379	377
貸倒引当金	△61	△60
投資その他の資産合計	641	633
固定資産合計	4,210	4,340
資産合計	26,130	23,249
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,218	1,628
電子記録債務	1,723	1,650
短期借入金	2,057	1,609
未払法人税等	51	44
賞与引当金	577	446
役員賞与引当金	52	-
製品保証引当金	127	140
その他	1,940	1,720
流動負債合計	8,749	7,240
固定負債		
社債	1,152	996
長期借入金	1,937	1,657
繰延税金負債	26	24
退職給付に係る負債	516	492
資産除去債務	31	30
その他	636	526
固定負債合計	4,299	3,726
負債合計	13,048	10,967

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,000	7,000
資本剰余金	4,469	4,468
利益剰余金	3,730	2,890
自己株式	△927	△921
株主資本合計	14,272	13,438
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	65	60
為替換算調整勘定	△1,371	△1,322
退職給付に係る調整累計額	115	106
その他の包括利益累計額合計	△1,190	△1,155
純資産合計	13,081	12,282
負債純資産合計	26,130	23,249

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	8,586	7,884
売上原価	5,861	5,784
売上総利益	2,725	2,100
販売費及び一般管理費	3,067	2,781
営業損失(△)	△342	△681
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	62	3
貸倒引当金戻入額	5	15
助成金収入	-	38
その他	23	17
営業外収益合計	91	74
営業外費用		
支払利息	23	16
為替差損	38	6
支払手数料	3	1
その他	0	3
営業外費用合計	65	28
経常損失(△)	△315	△635
特別利益		
投資有価証券売却益	227	-
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	228	0
特別損失		
固定資産除却損	1	0
債務保証損失	2	-
特別損失合計	4	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△91	△635
法人税、住民税及び事業税	41	12
四半期純損失(△)	△133	△648
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△133	△648

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純損失(△)	△133	△648
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8	△4
為替換算調整勘定	△95	48
退職給付に係る調整額	△23	△9
その他の包括利益合計	△127	34
四半期包括利益	△261	△613
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△261	△613
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△91	△635
減価償却費	296	292
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△312	△15
賞与引当金の増減額(△は減少)	△91	△131
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△47	△52
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△4	12
株式給付引当金の増減額(△は減少)	△10	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△44	△33
株式報酬費用	0	1
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	△15	-
受取利息及び受取配当金	△62	△3
支払利息	23	16
為替差損益(△は益)	△10	2
支払手数料	3	1
助成金収入	-	△38
投資有価証券売却損益(△は益)	△227	-
有形固定資産除却損	1	0
有形固定資産売却損益(△は益)	△0	△0
売上債権の増減額(△は増加)	3,811	3,221
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,303	△1,707
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,624	△641
未払消費税等の増減額(△は減少)	△344	△494
長期未払金の増減額(△は減少)	△91	△89
未払金の増減額(△は減少)	△115	△134
長期未収入金の増減額(△は増加)	304	0
その他	△185	△16
小計	△1,143	△446
利息及び配当金の受取額	60	3
利息の支払額	△24	△18
助成金の受取額	-	25
法人税等の支払額	△256	△10
法人税等の還付額	-	95
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,362	△350
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△174	△188
有形固定資産の売却による収入	0	0
無形固定資産の取得による支出	△11	△10
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	233	-
その他	2	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	50	△197

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,767	△448
リース債務の返済による支出	△79	△73
長期借入金の返済による支出	△362	△279
社債の償還による支出	△56	△156
自己株式の売却による収入	11	-
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△252	△189
支払手数料の支払額	△3	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,509	△1,149
現金及び現金同等物に係る換算差額	△30	6
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,851	△1,691
現金及び現金同等物の期首残高	6,157	6,365
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,305	4,674

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響について)

当社グループは、当第2四半期連結会計期間末における会計上の見積り（固定資産の減損の兆候および繰延税金資産の回収可能性の判定）において、新型コロナウイルス感染拡大による影響が今後、数カ月程度影響するものの年度末には経済活動が回復するとの仮定を置いて見積りを実施しております。

なお、当該見積りに用いた仮定の不確実性は高く、新型コロナウイルス感染症による世界経済の低迷が長期化した場合には、翌連結会計年度の当社グループの財政状態、経営成績およびキャッシュフローの状況に影響を及ぼす可能性があります。